

解答は全て解答用紙に書きましょう。

問題 1

みずきさんの学級では、国語の時間に、以前の物語づくりの学習で学んだことを生かしながら、自分を登場人物にした物語をつくりました。みずきさんは、毎日書いている日記帳を読み返し、学校の音楽会で経験したことや感じたことを物語にしました。次の、みずきさんの日記帳からぬき出した【日記の一部】、みずきさんが以前の物語づくりの学習でまとめた【ノートの一部】、みずきさんがつくった【物語】を読んで、あとの問い(1)～(5)に答えましょう。

【日記の一部】

9月20日 今日、音楽会で歌う6年2組オリジナルソングができた。「聞く人が感動するように歌おう」とみんなで決めた。本番まで約2か月。がんばろう。

10月4日 今日の練習で、『桜並木をくぐって～』の歌詞の歌い方について意見が対立し、険悪な雰囲気になった。そういうことがよく起こる。オリジナルソングは難しい。

10月8日 今日、1組から歌声が聞こえてきた。きれいな歌声だった。わたしたちも、あんなふうに歌えるようになるのかな。練習の雰囲気がずっと変わらないのであせる。

10月11日 昨日、教頭先生が歌の指導に来てくださった。「みんながんばってね。」とはげましてくださったけれど、今日も上手くいかないことが多くて悲しくなった。

10月18日 マイケル先生が、わたしたちの歌の練習にアドバイスをくださった。みんなの意見の言い方がやさしくなり、明るい表情で練習をするようになった。わたしは、学級テーマのことをすっかりわすれていて反省した。

11月15日 今日は音楽会の本番だった。出番を待っているとき、きんちょうした。でも、わたしもみんなも心をこめて歌えたと思う。マイケル先生の顔が見えた。マイケル先生も観客のみなさんも感動してくださっただろうか。明日学校に行ったら、マイケル先生にお礼が言いたい。

【物語】

みずきたちの発表まであと10分。舞台袖のみずきは、のどがかわき、演奏中の音楽もまるで耳に入らない。(だめだめ、落ち着いて。)みずきは、自分に言い聞かせ、深呼吸した。それから、目をとじて、これまでの日々を思い出した。『信じよう自分を 支え合おう友と はばたこう世界へ さあ!』みずきたちの学級テーマを歌詞にしたオリジナルソングができたのは、2か月前。小学校生活最後の音楽会で、オリジナルソングを歌うことは、みんなで決めたことだった。すぐに練習がはじまった。しかし、手本のないオリジナルソングを歌うというのは、想像以上に大変だった。「『桜並木をくぐって～』は、もっとやさしく歌うべき。」「『ルルルル～』のソプラノとアルトが合っていないよ。」みんなが気づきを感情的に言い合う。よい合唱にしたいという思いはみんなあるのだが、みずきは、a 雨が降り出す前のどんよりとした重い空のような学級の雰囲気を感じていた。となりの1組からは、ほぼ完成したような歌声が聞こえる。そんな日々が続いていたある日。“Let’s help each other, friends.”みずきたちが練習しているそばを通りかかったマイケル先生が、笑顔でそう言った。“Help? Friends?”みずきは、そうつぶやき、マイケル先生が言おうとしていることを考えた。「あっ、そうだ。A」みずきは、思わず大きな声でそうさげんだ。みんなの動きが一瞬とまった。何かに気づき、納得したような表情になった。マイケル先生は、学級テーマをわすれて険悪になっていた2組に声をかけたのだ。みんなの意見の言い方が変わった。「今の歌い方、歌詞にぴったり。」「いいねソプラノパート。」b どこまでもどこまでも続くすみ切った美しい空のような雰囲気に変わった。そして、みずきたちの合唱がはじまった。観客が見ている。心をこめて歌声を届ける。『信じよう自分を 支え合おう友と はばたこう世界へ さあ!』客席のマイケル先生が、にこにこ見ていた。

【ノートの一部】

物語の組み立て

- ① 物語がはじまるきっかけ
- ② 解決すべき問題の発生
- ③ 山場の場面…何かのきっかけで問題が解決する様子
登場人物の変化
※新しい登場人物がいる場合もある。
- ④ 物語の結末

山場の場面があると物語はおもしろくなる。

①～④を語る順序は工夫できる。

題名の付け方

- ・題名は、物語の内容と関連させて意味のあるものにするとよい。
(例)「一つの花」… たった一つだけの命を大事にしてほしいという父の思いと関連させた題名

(1) みずきさんは、【物語】を書く前に、【ノートの一部】の【物語の組み立て】を参考にしながら、「③山場の場面」に取り上げる出来事を決めることにしました。「②解決すべき問題の発生」として、【日記の一部】の _____ 部の出来事を取り上げる場合、「③山場の場面」にはどのような出来事を取り上げるとよいですか。【日記の一部】の言葉を使って、出来事の内容を65字以内で書きましょう。

(2) みずきさんは、【物語】の A に、マイケル先生から受けたアドバイスをもとに発した言葉を書きました。A に入る言葉として最も適切なものを、次のア～エから選び、記号で答えましょう。

- ア 信じよう自分を。 イ 支え合おう友と。 ウ はばたこう世界へ。 エ さあ!

(3) 【物語】を書いたみずきさんは、場面の展開がよく分かるようになってきているかを確認するために、友達のりょうさんに【物語】を読んでもらいました。すると、りょうさんから、「練習の場面から音楽会当日の場面が変わったことがよく分かるようにした方がよい」とアドバイスをもらいました。そこで、下の〈書き加える文〉を【物語】に加えて、音楽会当日の場面が変わったことが分かるようにすることにしました。〈書き加える文〉を、【物語】のどの文の前に加えるとよいですか。最も適切な文の最初の7字をぬき出して書きましょう。

〈書き加える文〉 「次は、6年2組です。」というアナウンスが、舞台袖で待つみずきたちに聞こえてきた。

(4) みずきさんは、以前に物語づくりの学習をした際に、「次に物語をつくる時には、もっと表現を工夫したい。」とふり返っていたことを思い出しました。そこで、【物語】の表現を工夫しました。次の問い①、②に答えましょう。

① みずきさんは、【物語】の _____ 部で、【日記の一部】に書いている気持ちを工夫して表現しました。どのような気持ちを工夫して表現していますか。【日記の一部】の言葉を使って書きましょう。

② みずきさんは、練習時の学級の雰囲気を、【物語】の a _____ 部と b _____ 部のように表現しました。a _____ 部と b _____ 部は、学級の雰囲気を何に例えていますか。5字以内で書きましょう。また、a _____ 部と b _____ 部の例えから分かる学級の雰囲気の変化について、【日記の一部】の言葉を使って書きましょう。

(5) みずきさんは、【ノートの一部】の【題名の付け方】を読み返し、【物語】に題名を付けることにしました。あなたなら、【物語】にどのような題名を付けますか。また、その題名を付ける理由を、次の〈条件〉に合わせて書きましょう。

〈条件〉・【物語】の内容と関連させて、具体的にその題名を付ける理由を書くこと。

・60字以上80字以内で書くこと。

